



仲道郁代 「フォルテピアノ」

クラシカル・ブレイヤーズ東京

演奏会

オリジナル楽器使用

仲道 郁代



© Kiyotaka Saito

クラシカル・ブレイヤーズ

7/12[日] 15:00開演(14:00ロビー開演)

東京芸術劇場コンサートホール

有田正広 [指揮]



© Hikaru*

Classical Players Tokyo, concert

Masahiro Arita, Conductor: Ikuyo Nakamichi, Fortepiano.

Classical Players Tokyo, Original Instruments *Yoshihi Toyoshima, Solo concertmaster

15:00, sun.12 July.2015, Tokyu Metropolitan Theatre Concert Hall

モーツアルト

交響曲第35番 ニ長調 「ハフナー」K.385 から1楽章
W.A.Mozart Symphonie Nr.35 D-Dur K.385 "Haffner" Allegro con spirito

ベートーヴェン

ピアノ協奏曲第3番 八短調 op.37

L.V.Beaethoven Klavierkonzert Nr.3 C-Moll op.37

メンデルスゾーン

交響曲第4番イ長調 「イタリア」 op.90
F.Mendelssohn Sinfonie Nr.4 A-Dur op.90 "Italienische"



【使様楽器】ジョン・ブロードウッド John Broadwood
73鍵 ピッチ430Hz/1816年/ロンドン製/山本宣夫 改造・仲道郁代 所蔵

日本の管弦楽演奏史のエポックメイキング!
オリジナル楽器(作曲された当時の楽器)オケの名門、
クラシカル・ブレイヤーズ東京と仲道郁代のコラボレーション第5弾!!
満を持して、オリジナル楽器でベートーヴェンのピアノ協奏曲に挑戦!!

S ¥4,000 A ¥3,000 B ¥2,000

東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296

<http://www.geigeki.jp/>

主催: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
助成: 公益財団法人朝日新聞文化財団

発売中

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

開館25周年/芸劇フェスティバル

200年の時を経て…作曲家が聴いた音を聴く、時空の旅へようこそ。

有田率いるCPTと仲道郁代のコラボレーション第5弾は、ついにベートーヴェンのピアノ協奏曲が演奏会で実現する千載一遇の機会。先の2月の演奏会で取り上げ名演となった運命交響曲と同様、ハ短調という調性から「ベートーヴェンならではの」象徴的な作品の一つとして挙げられる第3番が仲道氏が所有するオリジナルのブロードウッド製のフルテピアノで200年の時空を超えて再現される。演奏会後半は、メンデルスゾーンの交響曲第4番「イタリア」。ロマン派の交響曲にチャレンジする日本唯一のオリジナル楽器オーケストラであるCPTがこの名作をどのように演奏するか?最新の研究を基に聴きなれた楽曲に常に新しい光を当てる有田の解説はいかに!?その答えは、この演奏会を聴くことにある…。200年前の音楽会へ現代の音楽ファンをいざなう時空の旅へようこそ。



有田正広 | 指揮 |

Masahiro Arita, Conductor

古楽器と現代楽器の双方を駆使した広範な活動を繰り広げる、日本が世界に誇る国際的な音楽家の一人。1989年「東京バッハ・モーツアルト・オーケストラ」を結成し、指揮者としても活動を開始。2006年には、モーツアルトのフルートと管弦楽のための作品を全曲録音するとともに、東京芸術劇場で定期的に演奏会を開催。2009年4月には、ロマン派までをレパートリーとする日本初のオリジナル楽器によるオーケストラ「クラシカル・プレイヤーズ東京」を結成。2010年3月～翌8月にショパンのピアノ協奏曲第1番、第2番(ピアノ:仲道郁代)をオリジナル楽器による日本初演というわが国の演奏史上に記憶される演奏会を開催した(同時に世界初となるプレエルでの録音を行う)。その姿勢は、新たな音楽的創造を常に探求し、古楽器と現代楽器の枠を超えた新たな音楽的創造の領域へさらに活動の場を広げている。現在、精力的な演奏活動や研究活動とともに、昭和音楽大学、桐朋学園大学で後進の指導にあたっている。



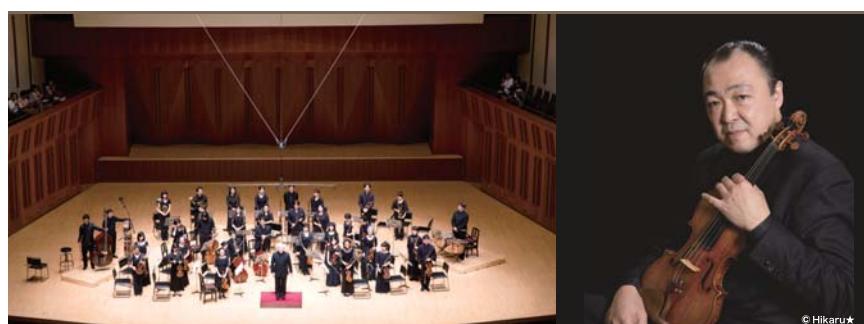
仲道郁代 | フルテピアノ |

Ikuyo Nakamichi, Fortepiano

4歳からピアノを始める。国内外での受賞を経て1987年ヨーロッパと日本で本格的にデビュー。温かい音色と叙情性、卓越した音楽性が高く評価され、人気、実力ともに日本を代表するピアニストとして活躍している。古典からロマン派まで幅広いレパートリーを持ち、ロリン・マゼール、パーヴォ・ヤルヴィ、小林研一郎などの多くの指揮者、国内外のオーケストラと共に演奏。近年は、ショパン、モーツアルト、ベートーヴェンなどのリサイタル企画、音楽との幸せな出会いを願う「不思議ボール」など、魅力的な内容とともに豊かな人間性がますます多くのファンを魅了している。テレビ番組、新聞、雑誌、ラジオなどメディアへの出演も多く、音楽の素晴らしさを広く深く伝える姿勢は多くの共感を集めている。

仲道郁代オフィシャル・ホームページ

<http://www.ikuyo-nakamichi.com>



クラシカル・プレイヤーズ東京 (オリジナル楽器使用)

Classical Players Tokyo, Original Instruments Orchestra

有田正広音楽監督のもと、日本最初の本格的な古楽器オーケストラ「東京バッハ・モーツアルト・オーケストラ」は1989年4月に結成され2009年3月公演もって20年の歴史の幕を閉じた。その後「東京バッハ・モーツアルト・オーケストラ」のメンバーを中心とする2009年6月に「クラシカル・プレイヤーズ東京」と改称。パロック、古典派にロマン派のレパートリーを加え、活動を開始。有田による最新の研究成果を基にオリジナル楽器で演奏される公演活動は歴史的資料に基づいた解説とその演奏という、日本のクラシック音楽界に新しい一条の光を当て、日本の管弦楽演奏史のエポックメイキングとなっている。

ソロ・コンサートマスター: 豊嶋泰嗣 Yasushi Toyoshima, Solo concertmaster

桐朋学園で江藤俊哉、アンジェラの両氏に師事。86年、大学卒業と同時に新日本フィルのコンサートマスターに就任。その後もサイトウ・キネン・オーケストラ等でコンサートマスターを務めている。ソリストとしては、ベルリン放響、モスクワ・ソロイスツ、ロンドン・モーツアルト管等、国内外のオーケストラとの共演。現在、新日本フィルソロ・コンサートマスター、兵庫県立芸術文化センター管コンサートマスター、九州交響楽団桂冠コンサートマスター。2014年クラシカル・プレイヤーズ東京のソロ・コンサートマスターに就任。

7/12[日]15:00開演 (14:00ロビー開演)

東京芸術劇場コンサートホール

全席指定 (税込)

S ¥4,000 A ¥3,000 B ¥2,000

東京芸術劇場ボックスオフィス
0570-010-296

(休館日を除く10:00-19:00)

<http://www.geigeki.jp/t/>

チケットぴあ

0570-02-9999 (Pコード:259-007)

<http://pia.jp/t/geigeki/>

イープラス

<http://eplus.jp/>

ローソンチケット

0570-000-407 (Lコード:39487)

0570-084-003

